

## 小池都知事の主な発言（仮訳）

- 都は「サステナブル・リカバリー」の推進に向け、気候変動対策や人々に感動や喜びをもたらす芸術文化を支える取組など、人々のマインドを回復させながら、未来に向けた復興を目指す取組を展開
- 施策を進めるにあたっては、行政だけでなく、様々な主体との共感と協働が重要。こうした考えのもと、東京 2020 大会は持続可能な大会となるよう新たな取組を実施  
具体的には、「都市鉱山」からメダルを製作するプロジェクトを実施したほか、大会運営用車両として水素で走る燃料電池自動車「MIRAI」について、大会のレガシーとして、東京都や区市町村等の業務用車両としても有効活用していく予定
- 地球規模の課題に対し、都市が果たす役割が重要。今こそ、行動する時。我々都市が、国に先んじて実効的な対策を行動に移し、世界の取組を先導
- 本会議は「サステナブル・リカバリー」を世界の皆様とともに歩む出発点として、参加いただいた皆様とも連携しながら、各都市の知見や取組を共有する新たな国際ネットワークを立ち上げていくことを表明